
山九、オマーン製油所の運営・輸送業務を受注

Edited By LogisticsToday On 2016/10/24

山九は24日、サウシ・アラビ・アでオマーンのソハール製油所の石油コークス装置オペレーションとメンテナンス業務を受注したと発表した。

現地法人の山九サウシ・アラビ・アが、オマーンの手石油精製・化学品会社の運営するソハール製油所で、7月末にコークカッティング・オペレーション、コークス保管取り扱い、タンク・トラック輸送、機器メンテナンスを受注したもので、契約期間は4年間で、1年更新、最大2年のオフ・シーズン付きとなっている。

同社は受注決定を受け「サウシ・アラビ・アで製油所関連のメンテナンスやオペレーションサポート（操業支援）、石油の精製過程で副産物として発生する石油コークスの切断作業コークカッティング・オペレーションで毎日数十万トン発生する石油コークスに対応できる十分な実績があることが評価された」としている。

ソハール製油所は2006年に完成した日産11.6万バレルの製油所で、現在は19.7万バレルを目指して拡張工事を行っている。山九は12月頃から作業を開始できるよう機材や要員などの準備と、山九サウシ・アラビ・ア・オマーン支店の開設準備を進める。

将来的にはオマーン支店を現地法人化する方針で、同国では同社グループ初の拠点となる。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/260693>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.